

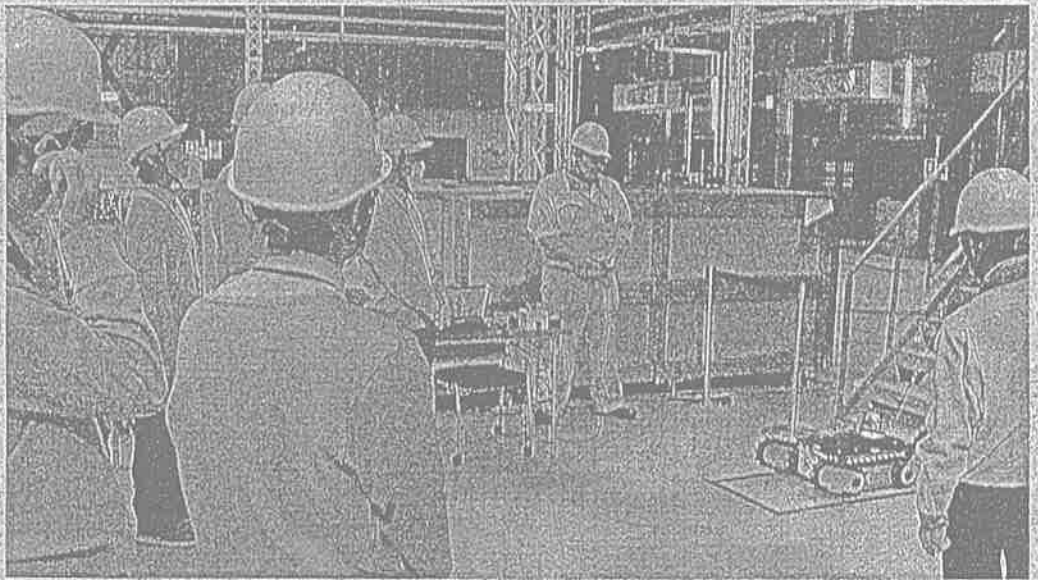
被災地見て 防災考える

高経大附高生

大地震と津波による被災地を見学して防災上の教訓を得ようと、

高崎経済大附属高（海野雅樹校長）の生徒が2日間にわたり、福島県のふたば未来学園高などを訪れ、被災地の現状や復興への取り組みを学んだ。

理系オナークラスの3年生39人が、いわき市の久之浜・大久ふれあい館（津波避難ビル）や富岡町の廃炉資料館・リプルンふくしまな



被災地の施設を見学する生徒

どを見学。ふたば未来学園高の生徒から震災当時の様子を聞いた。

情報を基に避難するこ
とが大切だと学んだ」と振り返った。

高崎経済大附属高の金井季心さんは「改めて地震や津波が怖いものだと感じた。正確な

大 切 な 危 険 に 対 し て 呼 び 返 し 参 び

遊べる水族園： 前橋